

2018 年 9 月 13 日

大和長寿道(やまとちょうじゅみち)を歩く

自然と文化科 企画委員会

藤原宮の大極殿を真ん中にして、この大和長者道の東西に桜井市の安倍文殊院(頭脳))と橿原市のおふさ観音(体)が有り、古来は延命長寿・現代はボケ封じのお寺として有名。道中、安倍寺跡・稚桜(わかざくら)神社、みずし観音等約9・7kmを散策します。

記

開催日時: 平成30年10月12日(金)10:00~15:00

前日夜17時のNHK天気予報の「奈良」**午前の降水確率60%以上**で中止する。

集合場所: JRまほろば線(桜井線)「桜井駅」南改札口(時計台前に) 10:00集合
近鉄線「桜井」改札口から20m 直進し右側エスカレーターでJRへ徒歩すぐ

解散場所: JR 畝傍駅 15:00頃 10分弱で、近鉄・八木西口駅

散策ルート: 桜井駅~安倍文殊院(拝観・トイレ)~安倍寺跡(トイレ)~稚桜神社~みずし観音
~万葉の森(昼食・トイレ)~天香久山(見るだけ)~公衆トイレ~藤原京跡(トイレ)
~おふさ観音~畝傍駅(解散)

* 昼食場所・万葉の森ですが、雨天時・班別にガイドさんの指示による。

* 交通参考 JR は 1 時間に1・2本で、桜井に行くより近鉄線が早くて便利です。

鶴橋 9:06-9:29大和八木 9:33- 桜井9:37

鶴橋 9:13~桜井9:52

鶴橋 9:16-9:40大和八木9:48-桜井9:55

ガイド(桜井市観光協会)及び班の順序

1 番	今澤さん	3 班 山上	2 番	小畑さん	4 班 玉尾
3 番	中野さん	1 班 堀内	4 番	池田さん	2班 後藤

費 用: 本堂拝観料 安倍文殊院 500円 (抹茶・お菓子はサービス)、

持ち物: 昼食、飲み物、雨具、防虫対策(草むらを 2 か所歩きます・マムシ注意)
保険証など必要な物。

参加申し込み: 9・28 までに

参加費(500 円)を添えて各班幹事にお渡し下さい。

以上

参考資料

1. 安倍文殊院

安倍文殊院は俗に「安倍の文殊さん」として親しまれ、切戸文殊(京都府)・亀岡文殊(山形県)とともに、日本三文殊のひとつに数えらる華嚴宗の別格本山です。もともと崇敬寺(安倍寺)という名前で、左大臣(今の首相にあたる)で大化の改新の中枢として諸政策を実行した、安倍倉梯麻呂が創建したといわれています。

境内にはたくさんの文化財があり、本尊の文殊菩薩騎獅像が宋様式の傑作(獅子は桃山代の後補)で 2013

年に 4 体の脇侍像と共に国宝に指定されている他、縁結びの神様として知られる白山堂の社殿は、室町時代後期に建立された流造柿葺の建物で、重要文化財に指定されています。



2・藤原京跡

特別名勝史跡の 藤原宮跡(ふじわらきゅうせき)は 694 年に持統天皇によって造られたわが国初の条里制の本格的な都城跡で中心施設である藤原京のあったところです、一辺約 1km の中に、大極殿や朝堂院といった国をあげての儀式や政治を行う施設や天皇の住まいである内裏などがあり、平城遷都までの 16 年間(694～710年)にわたりここに都が置かれました。大和長寿道はこの大極殿跡を横切って東は安倍文殊院、西はおふさ観音へと伸びています。



3. おふさ観音

おふさの観音さんの名で親しまれているこの寺の正式名は高野山真言宗別格本山観音寺といいます。「おふさ」の名は、江戸時代におふさという娘がこの地に観音様を祀ったことに由来するのだという伝承もあるようですが寺のある地名と合わせて「小房(おふさ)観音」と呼ばれています。



以上

